

一人の新しい人は、人を創造した神の定められた御旨を成就する

(木曜日—一夜の部)

メッセージ 3

一人の新しい人の創造と生み出すこと

聖書：エペソ 1:9, 11. 3:9. 2:15-16. 4:22-24

I. 「主の回復の中で導いている同労者と長老は、主の回復が自分の肩の上に乗っていることを認識しなければなりません。回復がどうなるかは、彼らがどうであるかにかかっています」(神聖で奥義的な領域、第2章)：

A. 「わたしはすべての同労者と長老がとても気がかりです。彼らの多くが、回復とは何であるかの完全な理解を持っていないかもしれません」(神聖で奥義的な領域、第1章)。

B. 「主の現在の回復に関して、あなたがたのだけれも、自分の古い神学によって、あるいは回復についての古い理解によって後退することがないようにと、わたしは望みます」(神聖で奥義的な領域、第1章)。

C. この時代の終わりの日々に、主が戻って来る前に、わたしたちは一つからだと一人の新しい人についてのビジョンを見なければなりません—— I コリント 12:12. エペソ 4:4. 2:15-16. 4:24。

D. 召会、すなわちキリストのからだは、一人の新しい人であり、神の永遠の定められた御旨を達成するためです—— 1:9, 11. 3:9. ローマ 8:29. II テモテ 1:9. エペソ 2:15-16. 4:22-24 :

1. 召会がキリストのからだであることは、命に重点があります。召会が一人の新しい人であることは、パースンに重点があります。

2. キリストのからだとして、召会はキリストをその命として必要とします。一人の新しい人として、召会はキリストをそのパースンとして必要とします。

E. 聖書は、一人の新しい人が団体的で宇宙的な人であることを啓示しています——エペソ 2:15. 4:24. コロサイ 3:10-11 :

1. わたしたち、キリストにある信者たちはみなキリストと一であって、新しい人となります。ですから、わたしたちすべては、団体的な一人の新しい人の各部分であり、その構成要素です。

2. 一人の新しい人は、一人の団体的な神・人、すなわちすべての神・人の集大成です。すべての神・人を一つに合わせるとき、一人の新しい人があります。

II. 神の詩、傑作としての新しい人は、キリストの十字架上の死を通して創造されました——エペソ 2:10, 15-16 :

A. わたしたちは 15 節の二つの句、「彼の肉体の中で」と「ご自身の中で」に十分な注意を払う必要があります :

1. キリストは「彼の肉体の中で」、宇宙のすべての消極的な事物を終わらせました。それらの消極的な事物とは、神の敵、悪魔サタン(ヘブル 2:14)、罪(ローマ 8:3. ヨハネ 1:29)、墮落した人の肉(ガラテヤ 5:24)、サタンの邪悪な体系であるこの

世、コスモス（ヨハネ 12:31）、古い人で表される旧創造（ローマ 6:6）、律法の分離する規定（エペソ 2:15）です。

2. キリストは範囲、要素、本質としての「ご自身の中で」、ユダヤ人と異邦人を一人の新しい人へと創造しました：
  - a. キリストは一人の新しい人（召会）の創造主であるだけでなく、新しい人が創造された範囲であり、またこの新しい人を創造するのに用いた要素と本質でもあります。
  - b. 彼は一人の新しい人の要素と本質であって、神の神聖な性質と人性を一つの実体とします——参照、コロサイ 3:10-11。
- B. 新しい人の創造において、まずわたしたちの天然の人が、キリストによって十字架につけられました。次に古い人を取り除くことを通して、キリストは神聖な要素をわたしたちの中へと分け与えて、わたしたちを新しい実体、神の新しい発明とならせました——ローマ 6:6. II コリント 5:17。
- C. キリストの創造する死を通して創造された一人の新しい人は、キリストの復活と昇天の中で形成されたからだに等しいのです。ですから、「一人の新しい人」と「からだ」は同義語であり、交換して用いることができます——エペソ 2:15-16. コロサイ 2:19. 3:10-11。

### III. キリストは十字架上で、数々の規定から成っている戒めの律法、すなわち隔ての中垣を、彼の肉体の中で廃棄して、ご自身の中で一人の新しい人を創造しました——エペソ 2:14-15 前半：

- A. 第 2 章 15 節で語られている律法は、道徳の戒めについての律法ではなく、儀式的戒めについての律法、例えば、割礼、安息日を守ること、ある食物を食べること、などについての規定です。
- B. 規定は生活や礼拝についての形式や方法であり、それが敵意と分裂を造り出します：
  1. 十字架上で、キリストは生活や礼拝に関するすべての規則、すなわち、諸国民を分裂させた規則を廃棄しました——15 節. コロサイ 2:14。
  2. バベルの時から、人類は生活や礼拝の方法に関する規定によって分裂してきました。神のエコノミーにおいて、召会生活の中で、わたしたちはバベルに打ち勝たなければなりません——創 11:1-9。
  3. 人の墮落のゆえに、多くの規定、多くの習わし、習慣、生活の方法、礼拝の方法があります。人類の間のこれらすべての違いは、人類を分裂させ、離散させ、混乱させました。
  4. 規定の主要な要素の一つは言語です。わたしたちの言語が規定となり得るのです：
    - a. ペンテコステの日に、言語によって引き起こされた分裂が克服され、一人の新しい人としての召会が出現しました——使徒 2:1-11。
    - b. わたしたちが言語によってもたらされた困難を克服することができるなら、規定に対する問題の大部分は解決します——6:1 とフットノート 1。

### IV. わたしたちはミングリングされた霊の中に、すなわち、神聖な霊と人の霊のミングリングの中にいればいるほど、ますます規定から解放されて、一人の新しい人を生み出します——エペソ 2:18, 22. 4:23-24. 6:18：

- A. 十字架が規定を廃棄したのは、その霊に地位を与え、その霊の中でわたしたちが御父に近づくためです—— 2:18 :
1. もしわたしたちが規定を持つなら、その霊を持っていません。しかし、その霊を持つなら、規定を持っていません：
    - a. 召会生活は規定から成っているのではなく、生ける霊から成っています。
    - b. 召会はその霊の複写です——ゼカリヤ 4:2-6。
    - c. 「霊がなければ、召会はありません。霊があればあるほど、ますます召会があります」 —— I コリント 12:13. エペソ 4:4。
  2. わたしたちがその霊の中にいないなら、行なうことは何であれ規定です——参照、II コリント 3:6。
- B. 「割礼も無割礼も重要ではありません。重要なのはただ新創造です」 ——ガラテヤ 6:15 :
1. 重要なただ一つの事は、新創造としての新しい人、すなわち神聖な性質を持つ命の傑作です—— 15 節. エペソ 2:10。
  2. 新創造になるとは、キリストがわたしたちの存在の中へと造り込まれることです—— 3:16-17。
  3. キリストがその霊を通してわたしたちの霊の中で実際化される時、わたしたちは新創造、新しい人となります——ガラテヤ 6:18. エペソ 4:23-24。
- V. 主の回復の目標は、一人の新しい人を生み出すことです——エペソ 2:15. 4:22-24. コロサイ 3:10-11 :
- A. 古い人において分裂し、散らされていたものは、新しい人において回復されます——創 11:5-9. 使徒 2:5-12. コロサイ 3:10-11 :
1. 古い人において、人は分裂し、散らされていました。新しい人において、人は集められ、一とされます。
  2. この世では、人と異なっていて個人主義的であればあるほど、さらに良いのです。これは神のエコノミーと正反対です。神のエコノミーは、集めて一とすることです。
  3. 古い人を脱ぎ捨てることは、分裂して散らされている人を脱ぎ捨てることです。新しい人を着ることは、集められた一人の新しい人を着ることです——エペソ 4:22, 24。
- B. キリストが、わたしたちの唯一の源であるべきです。わたしたちは自分の背景、文化、国民性の何ものをも、わたしたちの源とならせるべきではありません——参照、コロサイ 3:10-11 :
1. この世の人は、文化的な違いを誇りの源と考えますが、キリストの中で、わたしたちはこの誇りを失いました。今やわたしたちの唯一の誇りは、キリストであり、真の一です。
  2. わたしたちが進んで自分の文化の誇りを放棄するなら、主は正常な召会生活を持つことができます。
- C. 主が回復の中で行なってきた、今も行なっていることは、命とパーソンであるご自身をもって一人の新しい人を生み出し、神を表現することです——エペソ 3:17-19.

コロサイ 3:4, 10-11。

D. 一人の新しい人は、神の王国をもたらし、王であるキリストをこの地上に戻します——啓 11:15。

E. 今こそ、神がご自身の定められた御旨を完成して、一人の新しい人を成就する時です。この新しい人は、地上に完全に出現します——エペソ 4:11-13, 24 :

1. 世界情勢は一人の新しい人という目標のために起こされてきました。
2. 主が現在の時代に行なっているすべてのことは、一人の新しい人の実際的な出現をもたらすことです。
3. 技術の進歩のゆえに、さまざまな環境にある各地の聖徒たちが、実際と実行において一人の新しい人になることが今や可能です。

F. 一人の新しい人が成就される時、それは主が来る時です。そして、成就された新しい人は花嫁となります——啓 19:7。

務めの書物からの抜粋 :

規定を廃棄する

キリストは十字架上で死なれた時、罪、古い人、サタン、この世を対処しただけでなく、規定をも対処されました。キリストは十字架上で、数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されました。ですから、キリストは十字架上の死によって、五つの部類のものを対処されました。それは罪、古い人、サタン、この世、規定です。キリストが規定を対処することについて語るクリスチャンは、今日ごくわずかであるようです。わたしはこの題目に関して書かれた本があるかどうか疑問に思います。大部分のクリスチャンは、わたしたちのすべての問題は罪、古い人、サタン、この世に関してであると考えます。多くの人は、この四つの事が対処される限り、わたしたちは良いと考えています。しかし、規定が対処されてしまうまで、すべての問題は解決されませんし、わたしたちが良いことはあり得ません。規定、生活や礼拝の異なる方法は、キリストによって十字架上で廃棄されなければなりません。こうしてはじめて、彼はご自身の中で一人の新しい人を創造することができたのです。

わたしたちは、十字架上でキリストは贖いを成就し、悪魔を滅ぼし、この世を裁き、自己を十字架につけたことを繰り返し聞いてきました。しかしおそらくあなたは、キリストの十字架上の死はまた一人の新しい人の創造のためであったことを、決して聞いたことがなかったでしょう。一人の新しい人を創造するために、キリストは規定を廃棄する必要がありました。キリストは彼の肉体の中で、分離する規定を廃棄することによって、またユダヤ人と異邦人信者たちを一人の新しい人へと創造することによって、すべての信者たちの間に平和をつくられました。ユダヤ人と異邦人は、規定によって極度に分離されていました。しかし両方の人々はキリストの中で、神聖な本質をもって、一人の新しい実体へと創造されました。それは団体の人、召会です。他のどのクリスチャンも、規定の廃棄と新しい人の創造について語らないので、わたしたちにはこれらの事に関して語る負担が大いにあるのです。

召会の最高の面

大部分の信者たちは、召会が「エクレスシア (ekklesia)」、神の召された人々の集合、会

衆であることを認識しています。ブラザレンは召会のこの面を強調し、ギリシャ語の「エクレスシア」という言葉を、「会衆」(assembly)と翻訳することさえしました。それは正確な訳です。しかしながら、これは召会の初歩的な理解以下でさえあります。召会のいくらか進歩した観念は、神の家族、あるいは家庭であるというものです。召会についてのさらに高い理解は、召会がキリストのからだであるのを見ることです。召会についての最高の理解は、召会が一人の新しい人であることです。召会のこれら四つの観念は、教育体制の四つの水準、すなわち幼稚園、小学校、高校、大学のようなものです。わたしたちは、召会は会衆であるという幼稚園の水準から、一人の新しい人であるという大学の水準に進む必要があります。

会衆、集まりにおけるクリスチャンの間の関係は、あまり親密ではありません。家庭、家族の中では、さらに近く親密です。しかしながら、わたしたちは神の家族の者であるだけでなく、キリストのからだの肢体でもあります。ここでの肢体の関係はさらに親密です。会衆の中の人たちや家族の者は、互いに分離することができますが、からだの肢体は切断されない限り、からだから分離することはできません。からだはどこへ行っても、肢体も行かなければなりません。彼らには選択がありません。しかしながら、一人の新しい人の中で、交わりはからだの中よりさらに親密です。新しい人は団体的で宇宙的で、多くの信者たちがいますが、宇宙にはただ一人の新しい人がいます。すべての信者たちは、この一人の団体的で宇宙的な新しい人の構成要素です。主が新しい人に関して、さらに多くの光を見せてくださいますように！ わたしたちは召会のこの面について、まだあまり多く見ていないことを承認しなければなりません。新しい人としての召会の面は、最近になって開かれた新しい発見です。わたしは、来たるべき日に、主は一人の新しい人に関してさらに多くを啓示してくださると信じます。

家庭は会衆よりも親密であり、からだは家庭よりはるかに高く、新しい人はからだよりも高いのです。ですから、新しい人について、わたしたちは召会の最高の面に来ます。キリスト教の教師たちは、会衆、家庭、からだについて多くを語ってきましたが、一人の新しい人の事柄には、ほとんどだれも触れていません。この欠陥は、新アメリカ標準訳聖書でのエペソ人への手紙第4章22節と24節の嘆かわしい翻訳において明らかです。この訳は、これら二つの節で「人」という言葉を使わないで、22節で「古い自己 (self) を脱ぎ捨て」、24節で「新しい自己 (self) を着た」と言っています。これは何と重大な翻訳上の間違いでしょう！ 改訂標準訳も、「あなたがたの古い性質 (nature) を脱ぎ捨て」と、「新しい性質 (nature) を着た」という訳の採用によって、大きな誤りを犯しています。これらの誤りは、ここの翻訳責任者たちが、正当な観念、知識を持っていなかったために入ってきた。しかしながら、W・E・ヴァイン (W.E. Vine) は、この事柄の理解をいくらか持っていました。彼は新約語彙解明辞典 (Expository Dictionary of New Testament Words) の中で、第4章24節の新しい人は召会である、なぜなら、それは第2章15節で述べられている新しい人だからであると言っています。新しい人は、ユダヤ人と異邦人信者の二つの人々から創造されているので、団体の実体でなければなりません。

主は地上にこの新しい人を持つまで、彼の目的を達成する道はありません。今日のクリスチャンの間の状態は、神の目標からはるかに遠いものです。からだについて多く語られていますが、からだの正しい理解を持っている人は多くありません。さらに、クリスチャ

ンが一人の新しい人のことを語ることはほとんどありません。召会のこの面が完全に回復されることは、何と重要なことでしょうか！

神の意図は団体の人を持つことである

一人の新しい人を見るために、わたしたちは古い人の正しい理解を持つ必要があります。新しい人を着るようにと勧める前に、パウロは古い人を脱ぐようにと告げています(4:22)。天と地を創造した後、神は人を創造されましたが、単に個人としてではなく、集合的な実体としてでした。創世記第1章26節は、人のことを単数形と複数形の両方で語っています、「それから、神は言われた、『われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人(単数)を造ろう。そして彼らに……治めさせよう』」。これは、神の目的が常に、一人の集合的な人を持つことであったことを啓示しています。神が創造された団体の人は、墮落のゆえに駄目にされました。そこで今や、神は新しい人を持つ必要があります。この新しい人を生み出すために、キリストは、罪、古い人の墮落した性質、サタン、この世を対処するだけでなく、すでに指摘したように、規定を廃棄しなければなりません。神が新しい人を獲得するのを妨げるものは規定です。キリストが十字架につけられた時、わたしたちの罪、古い人、サタン、この世だけが、十字架につけられたものではありません。すべての規定も十字架につけられたのです。規定が十字架につけられたことは、赦し、聖、サタンに対する勝利、命の分け与えのためではなく、むしろ、それは絶対的に一人の新しい人の創造のためでした。

わたしたちは、ヨハネによる福音書第1章1節や第3章16節のような節をよく知っていますが、エペソ人への手紙第2章15節はあまりよく知りません。この節は言っています、「数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されたからです。それは、彼がご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造して、平和をつくるためであり」。キリストの肉体が十字架に釘づけられた時、彼は数々の規定から成っている戒めの律法を廃棄されました。それは、彼がご自身の中で、ユダヤ人と異邦人の二つのものを、一人の新しい人へと創造するためでした。15節を16節と一緒に読む時、キリストが十字架を通して規定を廃棄し、十字架によって敵意を殺したこと、それは贖いの成就や命の分け与えのためではなく、ユダヤ人と異邦人を一人の新しい人へと創造するためであったことをはっきりと見ます。

キリストの死はすべての被造物を含む

キリストが肉体の中で十字架に釘づけられた時、旧創造全体が含まれていました。なぜなら、すべての被造物は、彼の肉体と関係があったからです。ヘブル人への手紙第10章によれば、キリストの肉体は宮の中の垂れ幕で予表されました。垂れ幕の上には、刺繍されたケルビムがあり、それは生き物を表徴しました。ですから、キリストが十字架に釘づけられた時、全被造物が彼と共にそこで釘づけられたのです。さらに、宮の中の垂れ幕が裂かれた時、ケルビムも裂かれました。これは、キリストの肉体が十字架につけられた時、全被造物が十字架につけられたことを表徴しています。これが十字架の聖書的な理解です。

もしあなたが信じていないユダヤ人に、十字架につけられたのはだれであったかと尋ねるなら、彼は「ナザレのイエスという人だ」と答えるでしょう。この質問を新しい信者に

するなら、彼はおそらく、自分の救い主、イエス・キリストがそこで死なれたと言うでしょう。前進したクリスチャンは、自分と救い主の両方が十字架につけられたと答えるでしょう。さらに前進したクリスチャンは、救い主、自分自身、悪魔がみな十字架につけられたと言うでしょう。他のクリスチャンは、彼らよりさらに前進していて、十字架上で救い主、自己、悪魔、この世が釘づけられたと言うでしょう。もしさらに続けて、円熟し光で照らされたクリスチャンに、だれが十字架上で死んだかについて尋ねるなら、彼は、救い主、自己、サタン、この世、全被造物がそこで釘づけられたと言うでしょう。もしこの質問がわたしたちになされるなら、わたしたちは答えの中に、すでに述べられた五つの項目だけでなく、規定をも含めるべきです。キリストの死は旧創造のすべてを終わらせました。宇宙におけるあらゆる消極的なものは終わらされました。

#### キリストの中で創造された新しい人

キリストは、数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されました。しかし彼は、彼の肉体の中で新しい人を創造されたのではありません。そうではなく、彼は肉体の中で、消極的なものを終わらせたのです。それは、彼がご自身の中で、ユダヤ人と異邦人の二つのものを、一人の新しい人へと創造するためでした。消極的なものはキリストの肉体の中で終わらされましたが、新しい人、もちろん、それは積極的なものですが、キリストご自身の中で発芽させられました。わたしたちはエペソ人への手紙第 2 章 15 節の二つの句に細心の注意を払う必要があります。それは「彼の肉体の中で」と、「ご自身の中で」です。もしわたしがあなたに、あなたは今日どこにいるかと尋ねたなら、あなたは言うべきです、「まず、わたしはキリストの肉体の中にいました。今わたしはキリストご自身の中にいます。彼の肉体の中で、わたしは十字架上で終わらされましたが、キリストご自身の中で、わたしは一人の新しい人の一部分として創造されました」。

キリストは、消極的な事を終わらせるだけでとどまりませんでした。何度も指摘したように、死は復活の出発点です。それは、わたしたちを復活の中にもたらし入れます。肉体の中のキリストは十字架につけられましたが、この死は彼を復活の中にもたらし入れました。復活の中で、彼はもはや肉体の中にはいません。むしろ、彼はすばらしい霊です。わたしたち、古い人が終わらされたのは、彼の肉体の中ででしたが、わたしたちが一人の新しい人の中へと創造されたのは、すばらしい霊の中です。わたしたちの古い人と古い性質が十字架につけられた時、わたしたちの墮落した性質に関する規定はほふられました。次にキリストの復活の中で、また彼のすばらしい霊の中で、わたしたちは一人の新しい人へと創造されました。わたしたちが生まれる前に十字架につけられたと言うのは、理に合わないようです。それにもかかわらず、わたしたちが十字架上のキリストの肉体の中で終わらされたことは、驚くべき事実です。さらに、わたしたちは生まれる前、すばらしい霊の中で創造されて、一人の新しい人となりました。

#### 新しい人の本質としてのキリスト

「ご自身の中で」という句はとても意義深いです。それは、キリストが一人の新しい人、召会の創造主であるだけでなく、新しい人が創造された範囲であり、その手段でもあることを示します。わたしたちは終わらされた後、彼の中で新しい本質を受けました。キリス

トご自身が、わたしたちにとってこの新しい要素となりました。わたしたちの古い人の中の何ものも、新しい人の創造には役に立ちませんでした。なぜなら、わたしたちの以前の本質は罪深かったからです。しかし、彼の中にはすばらしい本質があります。その中で、一人の新しい人が創造されました。

キリストは、神の神聖な性質を人性の中へと造り込むことによって、一人の新しい人、すなわち召会を創造されました。この神聖な働きは、新しいものでした。旧創造では、神は彼の性質を、どの被造物の中にも、人の中にさえも、造り込まれませんでした。ところが、一人の新しい人の創造では、神の性質が人の中へと造り込まれて、彼の神聖な性質と人性を、一つの実体としました。

#### 新しい人の創造に関する真理のための戦い

悪鬼どもと邪悪な天使たちは、一人の新しい人が神聖な本質の中で創造されたことを知っています。この事実は彼らを恐れおののかせます。こういうわけで、悪鬼的な勢力は、クリスチャンに一人の新しい人の創造の事実を見させまいとします。ですから、わたしたちはこの真理のために戦わなければなりません。わたしたちは祈り求めて、わたしたちは十字架上で終わらされただけでなく、この終結によって、キリストの中へと移し入れられたことを、明確で冷静な思いが認識する必要があります。キリストの中で、彼の神聖な本質をもって、わたしたちは一人の新しい人へと創造されました。

わたしたちは生まれる前に一人の新しい人へと創造されたこと、新しい本質がわたしたちの中へと造り込まれたことを、信じることは重要です。キリストが十字架上で死んであなたの罪を取り除かれたことを信じるなら、あなたはまた、彼の死を通して彼の中へと入れられたこと、彼の中で、彼の神聖な本質をもって、新しい人へと創造されたことも信じなければなりません。あなたはかつて、十字架においてキリストがあなたを彼の肉体の中で終わらせ、そして彼の復活の中であなたをご自身の中に入れられたこと、それはあなたを、神聖な本質をもって、新しい人へと創造するためであったことを、聞いたことがあるでしょうか？ この観念は、わたしたちの天然の理解を越えています。それにもかかわらず、御言によれば、それは事実です。第2章15節を注意深く、祈りをもって読むなら、光が入って来るでしょう。わたしたちは、わたしたちと全被造物（垂れ幕の上のケルビムで表徴されている）が、キリストの肉体の中で十字架につけられたことを見るでしょう。死がわたしたちを復活の中へと導き入れるので、キリストは彼の復活の中で、わたしたちをご自身の中へと入れられました。そして彼は神聖な本質をもって、わたしたちをご自身の中で、一人の新しい人へと創造されました。

エペソ人への手紙第2章15節は、「彼が、二つのものを一人の新しい人へと創造して」と言っているわけではありません。「ご自身の中で」という句を無視してはなりません。わたしたちは彼の中にいることなしに、新しい人へと創造されることはできなかったのです。なぜなら、わたしたちは自分自身の中に、新しい人の要素である神聖な本質を持っていないからです。ただ神聖な本質の中で、神聖な本質をもって、わたしたちは新しい人へと創造されたのです。この本質を持つことは、キリストの中でのみ可能です。事実、キリストご自身がこの本質、この要素です。ですから、キリストはご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造されたのです。わたしたちはみな、わたしたち信者はキリストの中



で一人の新しい人へと創造されたという事実に、深く印象づけられる必要があります。(エペソ人への手紙ライフスタディ、第 24 編)